





静かな 静かな 夜
そっと見上げた空は ただ藍色で
優しい冷たさに満たされていた..

そんな静寂の中に
ひっそりと舞い散ったサクラの花びら。

ほら..
優しい言ノ葉を届けてくれる

貴方に..



どんなに 折れてしまう事があっても
どんなに 沈む事があっても

何時か きっと 歩き出せる

そんな強さを
僕らはみんな持ってるよ。



甘酸っぱいキモチは
僕に 幸福を与えてくれた。

ゆるくしめ付けられる様な 真綿の束縛

満たされる幸せに包まれて

僕は どこまで飛べる？



雲といっしょに流れて 流されて・・・

たどり着いたのは

君の となり。



ふわふわ 流されて

どこまでも どこまでも

遠くへ・・・



ひょっこりと出た芽は

小さくて 小さくて・・

とても とても 弱かった。

けれど 沢山の痛みや喜びを乗り越えて

何時かは 大樹になってくんだ・・。

流れて・・流れて・・



かぜといっしょに

どこまでも・・



何度 涙(あめ)に濡れたって
また 立ち上がり 歩き出すんだ..

僕等は。

決して 立ち止まりはしない。
決して 雨に溺れたりしない。



終焉の鐘の音が響く。

星が流れ 僕等の世界はコワレ始める。

これが

僕等の希_(のぞみ)だったのだろうか・・・。



おや？
わすれもの。

ねえ・・・
これは わすれんぼうな
きみの のこしたものかな・・・？



すり抜けてく空に

色だけが重なってゆく・・

さあ いっしょにかえろう・・？



モヤモヤとした気持ちは

"今日"に 置いてゆこう。

新しい"明日"には

真っ白な心だけを持って・・・。



溜まったキモチは 何処へゆけばいい？
溢れた感情は 何処ですぐいとればいい？

止まらない時刻(じかん)。
戻れない時刻(じかん)。

流れゆくものを
僕らは ただただ見ているしかない・・・。



僕の心に映る記憶。

幼い僕の手を引くのは
小さいけれど温かな君の手。

ただ真っ直ぐに届く 君の聲。
ただ真っ直ぐな 君の笑顔。

それが 僕の世界の全てだった過去(じかん)。

あの頃の ただ真っ直ぐだった心を
今の僕は求めてしまうよ…。

独りじゃないよ。



躓いたら 誰よりも先に駆けつけて手を貸すよ。

立ち止まったら 一緒に立ち止まるから。

だから "独り"だと思わないで。



何時だって 繋がっている。

君と 僕の手。

君と 僕の心。

君との 絆。

ずっと ずっと ・・・。



当たり前の存在(きみ)が となりにいない。

いつも見てた あの優しさが
今はもう となりにない

ただ ただ 空白になってしまった場所を
僕は まだ
手探りで 君をさがすんだ..。



ふと 見上げた空は
ビルに囲まれ 小さく小さく 在った。

僕の知る世界
僕等の知る世界。

何時か この狭い空しか望めない地を離れ
大きな大きな空を見る日が来るのだろうか・・。



遠く旅立つ君を
僕は遠くで見つめてる・・

素直に その背を見送りたい。
素直に 笑顔を送りたい。

でも
その為には 僕には準備が足りなかった。

願わくば あの時間(とき)を もう一度・・。

破壊者？ 創造者？



シロとクロの世界

それが 僕らの全て。

それを 壊して 色をくれたのは

たった一つ

・ ・ "君" という存在だったんだ ・ ・ 。

何度でも..



何度 涙(あめ)に濡れても
強く 強く 咲き誇る。

何度でも 立ち上がるんだ。

何度でも 立ち上がれるんだ 僕らは..。



澄んだ夕方の空気。
静かに 静かに 流れる時間。

そんな空間(ばしょ)に立って
空を眺めていたら
知らず知らず 涙が流れていたんだ…。



ぼんやりとした光は
迷いの中 怯える僕のチカラになった。

真っ暗な闇の中から
助け出してくれた ヒカリの先に
真っ白な 温かさがあった。

知らなかったんだ・・
その光が 真っ白な闇の始まりだった事に。

それは 優しい優しい"闇"だった・・。



心は まるでパズルみたい。

誰かの存在が
誰かの言葉が

僕の中にある穴を
少しずつ埋めて..染めてゆく..

僕も
誰かの心の1ピースになれているかな..?



天穹^(そら)一面の青に包まれて
僕は 何処までも手を伸ばしてみる。

遠くで響く 君の声。
心地良い空気の流れ。

全てが 僕を優しく包んでる。

そっと 眸^(め)を閉じて
僕は ほんの一時の休息^(じかん)に身をまかせる・・・。



何でもない いつものこの道。
何でもない 変わらない風景(けしき)。

当たり前だった この場所から
僕は 明日 旅立つよ・・・。



いっしょに洗い流せたら良いのに・・・

哀しみ・・・後悔も・・・